



東京大会を終え、何を創り出す… ~ Create ~

統括副学園長 大矢 真由美

8月31日に、9年生・A組・A組仲よし学級と、有明へ出かけました。保護者の皆様には、参加に向け、ご理解、ご協力をいただきありがとうございました。有明体操競技場では、初の学校連携観戦の迎え入れだったそうで、たくさんのボランティアスタッフから歓迎を受けました。また、金メダルに輝いた杉村英孝選手の勇姿を、準々決勝で応援することができました。会場では大声での応援はできませんでしたが、白いジャックボールに、選手がピタリと寄せるボールや限られた時間の中で瞬時に戦略を立てて思い通りに投球する姿に驚き、心の中で応援してきました。杉村選手をはじめ選手やサポートのトレーナーの方々が退場する際に、子供たちが大きく手を振ると、それに笑顔で応えてくださった姿に心から感動しました。翌9月1日の決勝戦は、テレビにかじりついて応援し、金メダル獲得に大感動でした。



杉村選手は、脳性麻痺のため1歳から18歳まで医療施設で過ごしました。高校3年生の時にボッチャと出会い、どんどん勝ち進み、よい成績を残し続けてきました。ところが勝てなくなる時がやってきます。その時、杉村選手の考えたことが、今でも私の琴線に響いて仕方がないのです。それは、「世界を目指そう」と決めたときに、「過去の自分に勝つこと」と目標をもったことです。

自分の思い通りに事が進まなかった時、悩みにぶつかった時、本番に自信がもてない時……。自分が頑張ろうとしていることに対し、障害がおこると思わず逃げ出したくなるというのは、当たり前の心理です。けれど、逃げ出さず、勇気を出してぶつかっていった時に、自分でも思いもよらなかった結果を手にできるのだと思います。どうしてスランプに陥っている自分に、さらなる大きな目標を課せられるのか……。その考え方方が、勝利者になるポイントではないでしょうか。

また、東京都がオリパラ教育を約8年も前から始め、学校で学ぶ機会をいたしました。開催を終え、選手からたくさんの感動を得たことはもちろんですが、選手を今までよりも身近に感じられました。地元東京で競技大会が行われていたこと、そして特に、今年度、学園が目標に掲げた「Diversity 多様性」についても、たくさん考える機会となりました。オリンピアンもパラリンピアンも、みんなも私もみんな同じです。今の自己ベストで満足するのか、どこを勝負のステージとするのか……。次は学園のみんなが感動を創り出す番です。

4回目の緊急事態宣言の延長を終え、ここからが2学期の最大の行事へ向かい、日常の学習と並行しながら、子供たちが大きく動き出します。11月に延期した小学校のスポーツフェスティバル、練習日程等を調整して行う10月の中学校の合唱コンクールを、全力で取組み、大きな実りの秋としていきましょう。

緊急事態宣言解除になったとはいえ、まだまだ油断できない状況の中、2学期のスタートでは午前授業に変更したように、今後も対応のための変更があるかと思います。全児童・生徒に配付されたタブレット端末を効果的に活用し、学園生活が予定通り実施できるよう、全教員が研修を重ねています。夏休みの各学級のオンラインホームルームをはじめ、保護者会やオンライン授業、校内の会議等もオンラインで行い、使って慣れる、使いこなそう、と挑戦しています。

小学部

- 生活目標●

責任をもって行動しよう

- 安全目標●

(低) 校内での安全な過ごし方を考えよう
(中・高) 携帯電話やSNSの安全な使い方を知ろう

中学部

- 生活目標●

ものを大切にしよう

- 安全目標●

社会のルールを理解して
安全に過ごそう

小中共通

- 保健目標●

目を大切にしよう

- 給食目標●

後片付けをきちんとしよう

小学部4年生 座・高円寺鑑賞教室

4年生は、9月2日(木)に座・高円寺主催の演劇鑑賞教室に行きました。

鑑賞した作品は、「フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～」です。「どうして、人間は食べられないのに、豚は食べられてしまうのか。」がテーマで、宮沢賢治の名作「注文の多い料理店」の話も交えながら、命を食べることについて考えさせられる作品です。

作品の鑑賞後には、脚本家や出演者とのトークショーもあり、「どのような気持ちで演じていますか?」、「舞台の裏側はどうなっていますか?」など、たくさん質問をしていました。

体験できる機会が減っている中で、児童が間近で本物を感じることができる貴重な体験になったと感じました。児童の感想をいくつか紹介します。

児童の感想

- 自分が食べているものを残さず、感謝して食べ物を食べたいと思いました。
- 動物たちは、人間に食べられることを理解しているのかな、と思いました。豚などの動物に感謝したいです。
- 「いただきます」ということは、動物の命をもらっていることは知っていたけど、さらに考えさせられました。僕は食べ残しが多いので、悪いなと思いました。
- 俳優さんが息切れもしないで、ゆっくりと大きな声でセリフを言っていて、さすが俳優さんだなと思いました。



パラリンピック観戦

パラリンピックでのボッチャ観戦に向け、9年は競技の学習から始まり、ボッチャの豆知識を調べたカード作りとその展示などを行ってきました。特に1学期に開催したA組とのボッチャ交流戦では、真剣勝負を楽しむ中で、パラスポーツの奥深さに関心が高まっていく様子が伺えました。

残念ながら8月31日の有明体操競技場に全員で行くことは叶いませんでしたが、現地へ行ったA組・9年・A組仲よし学級の児童・生徒は、会場の空気に触れ、真剣な面持ちで試合の様子を見守っていました。日本の杉村選手が戦っている中、同時に並行で行われていた他の試合や、杉村選手の対戦相手のファインプレーにも拍手を送る姿には、学園の教育目標である「Communicate—豊かに関わるー」、そして「Diversity(多様性)」の気持ちが垣間見えたように思います。学園に残った児童・生徒も、これまでの学びを思い出しながら、それぞれの教室でボッチャやその他の種目の配信を観戦しました。

オリパラ学習の振り返りの際に、「人それぞれに個性があって、正解も不正解もないという事実が、もっとたくさんの人に伝わってほしい」、「オリンピックとパラリンピックを分けなくてもいいのではないか」など、生徒一人一人が「Diversity」を考え、今現在の自分なりの答えを見つけることが、この長い学習の何物にも代えがたい成果であったと思います。

小学部の頃、マスコットキャラクターの話し合いから始まった生徒たちの東京2020オリンピック・パラリンピックは、学園9年生という節目の年に幕を閉じました。多感な時期にこの大会に触れたことが、目まぐるしく変化する現代を生きしていく彼らの力になることを願います。

中学部 生徒会選挙

9月8日(水)に立会演説会・生徒会役員選挙が行われました。選挙活動期間中、立候補者は朝の登校時に昇降口前で挨拶をし、給食の時間では政見放送という形で自分の考えを主張して、アピールを重ねてきました。

立会演説会に向けて、各候補者は自分の思いがしっかりと伝わるよう、スピーチ原稿を何度も練り直し、演説時の姿勢や目線など細部にもこだわって準備を入念に進めました。本番では、学園教育目標である3Cやダイバーシティに絡めた取組や改革案の提案、小中交流の活性化など、学園の今後について具体策や熱い思いを主張しました。

投票では、杉並区選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱が使用され、厳粛な空気の中で行われました。その後の開票作業も順調に進められ、決選投票となった副会長2名と信任投票の会長1名・総務2名、計5名が決まりました。新役員の皆さんには、ぜひ期待に応えてほしいと思います。

また、今回の選挙では無効票はありませんでした。学園全体が一体となって取り組めた選挙だったと実感しました。



立会演説会(候補者会場)



立会演説会(教室)



本物の投票箱を使用した投票



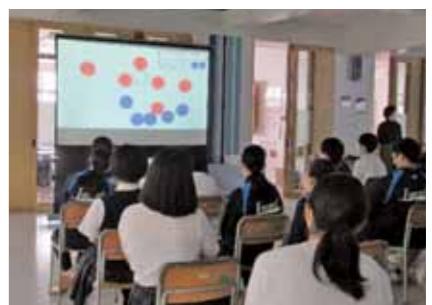
選挙管理委員会の開票作業



競技場に到着



準々決勝の4試合を観戦



ボッチャ観戦事前学習(ルール理解)



スタッフのみなさん、ありがとう！



選手の正確な技能に、驚愕、感動！



ボッチャ観戦事前学習(A組・9年交流)

10月の行事予定



日	曜	予 定		日	曜	予 定	
		小 学 部	中 学 部			小 学 部	中 学 部
1	金	いのちの教育月間始 わくわくプロジェクト①(幼保)	都民の日	16	土		
2	土	土曜授業 短縮時程 サイエンスグランプリ始	3時間授業 CS会議 ESAT-J(9年)	17	日		
3	日			18	月	学年朝会 富士移動教室①(5年)	生徒朝会 冬服完全移行 合唱コンクール前日指導
4	月	学年朝会 サイエンスグランプリ終	後期専門委員会	19	火	富士移動教室②(5年) 自転車講習会(4年)	合唱コンクール
5	火		安全指導 合唱コンクール放課後練習始	20	水	校内授業研究(4時間授業) 富士移動教室③(5年)	
6	水	午前授業 短縮時程		21	木	短縮時程 4時間授業 就学時健診	
7	木	遠足(2年) 水道キャラバン(4年) 放課後パワーアップ教室(2年以外)	B時程始	22	金	避難訓練 わくわくプロジェクト④(幼保)	進路説明会(9年)
8	金	安全指導 A組仲よし学級見学会 租税教室(6年) わくわくプロジェクト②(幼保)		23	土	漢字検定	
9	土	英語検定		24	日		
10	日			25	月	全校朝会(小中未来サミット) 合同委員会 能・狂言教室(6年) 薬物乱用防止教室	
11	月	小学朝会 クラブ	中学朝会	26	火	読み聞かせ(4年) 社会科見学(6年) 生活科校外学習(1・2年)	
12	火	読み聞かせ(3年) 遠足(1年)		27	水		
13	水	ミュージックフェア		28	木	校内授業研究(4時間授業)	
14	木	放課後パワーアップ教室		29	金		地域散策(A組) 進路面談始(9年)
15	金	富士移動教室前検診(5年) わくわくプロジェクト③(幼保)		30	土	長縄グランプリ	
				31	日	いのちの教育月間終	

学校支援本部コーナー

夏休み前の7月8日に、A組仲よし学級陶芸の授業が行われました。このサポートは、6年目になります。定年後にご夫婦で陶芸を趣味としている、小学生時代の友人が講師として、来校されました。



土鉢、抹茶茶わん、サラダボール・キャンディーボックス等、個性、豊かな作品ができあがり、セシオンでの連合展覧会では、中学部A組の作品と一緒に、素晴らしい展示がされていました。かかわらせていただいたことを、とても嬉しく思っています。

今年はコロナ禍により、友人からの作成図をもとに、先生方と学校支援本部より、6名のサポートーで、植木鉢を作成しました。飛行機、動物、お花畑、東武東上線等、思い思いの形ができあがりました。

マスクの奥で、笑顔いっぱい。楽しい授業となりました。学園の窓で、素焼き、色付けをして仕上がった植木鉢には、パンジー等が入れられて、3学期の作品展を華やかしてくれること思います。

(<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>
お問い合わせ : info@shinsen-izumi.sakura.ne.jp)



学校運営協議会コーナー

8月は31日のうち24日が30℃を越える猛暑だったのが一転、9月に入ると気温20度前後の日が続き、体調管理が難しくなっています。オリンピックに次いでパラリンピックが無事に終わった一方、東京都の緊急事態宣言が9月末まで延長されるなど世の中の動きは慌ただしいですが、9月14日(火)学校運営協議会が開催されました。



この日は7月に行われた保護者の方々との「気づく喜び共感カフェ」に続き、教員の方々との「共感カフェ」を行う予定でしたが、緊急事態宣言延長で学事日程を変更せざるを得ず、先生方が多忙を極めていたため、残念ながら延期となりました。

学校運営協議会委員の任期は9月末が区切りとなっており、今回の運営協議会を以て2名の委員が任期満了で退任されます。10月からは新しい委員の方も加わり、フレッシュな学校運営協議会が始まるので、新たな発想でさまざまな課題を取り組んで行きたいと思っております。次回の学校運営協議会は学校公開日の10月2日(土)午前9時45分から学園長室で開かれます。傍聴もできますので、ご希望の方は学園までお知らせください。

・杉並和泉学園校区 地域教育推進協議会
公式YouTube和泉あすをりなすの会
・WEBサイト <https://asuworinasu.com/>

